広報 かるまい 7
平成25年（2013年） No.652

一秒でも早く

６月２日に開催された町消防操法競技会では、各消防団員が日頃の訓練の成果を披露。より正確により早くその技術を競い合いました。（写真はポンプ車の部で優勝した第８分団第１部、関連記事は２ページ）

今月の主な内容

■町消防操法大会 …… 2
■玉舘鉄蔵さんに大臣表彰 … 3
■公共交通アンケート結果 … 4～5
■大南チヤさん　祝100歳 … 6
■町職員の募集 …… 7

平成25年度町消防操法競技会

火消しの技術を競う

平成25年度の町消防操法競技会（町・町消防団主催）が6月2日、ハートフル・スポーツランド第2駐車場で開催され、町消防団（山舘松五郎団長）の全8分団27部が出場しました。

消火作業の基礎・基本となる動作の正確さや機敏さ、火点と呼ばれる的に放水するまでのタイムなどを競う同競技会。隊員らは日頃の訓練の成果を発揮していました。二戸消防署軽米分署員による厳正な審査の結果、ポンプ車の部では第8分団第1部（山口、貝喰、山内駒木、大久保、上谷地渡、下谷地渡、竹谷袋）、小型ポンプの部では第4分団第3部（蛇口、大沢）が優勝しました。第8分団第1部は7連覇となりました。

分団各部の総合得点の平均を競う分団賞は第8分団（下谷地敦雄分団長）が獲得し、7年連続の受賞となりました。

同競技会の上位表彰チームは左表のとおりです。

優勝した2チームは、6月30日に一戸町で行われた二戸支部消防操法競技会に町の代表として出場。第8分団第1部はその実力を十分に発揮し、二戸支部の強豪を相手に優勝を手にしました。

上位表彰チーム

※○は順位、（　）内は行政区

【ポンプ車の部】

①**第8分団第1部**（山口、貝喰、山内駒木、大久保、上谷地渡、下谷地渡、竹谷袋）

②**第1分団第1部**（荒町、仲町、大町、本町、元屋町）

③**第7分団第1部**（早渡、上・下晴山、内城）

【小型ポンプの部】

①**第4分団第3部**（蛇口、大沢）

②**第2分団第4部**（八木沢、屋敷、小玉川、市野々）

③**第2分団第3部**（百目金）

④**第8分団第2部**（中村、平、和当地、東）

⑤**第5分団第2部**（山田、仲軽米、沢里、上舘、岩崎、車門）

⑥**第5分団第3部**（蜂ヶ塚、米田、牛ヶ沢、民田山、大久保）

【分団賞】第8分団

【特別賞】

第6分団第3部（戸草内、増子内、七ツ役）

（前列左から）㊞小林一幸②下谷地由章
（後列左から）④山野下利樹③瀧澤仁志
④上村司

（前列左から）①西舘徳勝㊞於本博之
（後列左から）③中里秀則②戸田敏道

※敬称略、㊞は指揮者、○に数字は番手番号

玉舘鉄蔵さんに農林水産大臣表彰

山本町長に表彰の報告に訪れた玉舘さん

自然を満喫できるせせらぎの森

玉舘鉄蔵さん（73歳、屋敷）は、自ら所有する森林の中に「森林・自然園せせらぎの森」を10年ほど前から開設しています。ここでは、子どもたちに森林の散策や炭焼き体験させるなど森林環境教育を実践しています。この活動が評価され、2012年度の緑化功労者（国土緑化推進機構主催）に選ばれ、5月に鳥取県で行われた全国植樹会で同功労者として農林水産大臣賞（最高賞）を受けました。

「自然の中で子どもたちにのびのび過ごしてほしい」と思い、約20年前からせせらぎの森を整備し始めました。「自分の庭のように楽しみながらやっている」と笑顔を見せていました。

現在は炭焼き小屋のほか、釣り堀や自然を利用したアスレチック、農機具などを展示した森の伝承館があります。季節ごとにキノコや山菜取りなども楽しめ、大人の方にも好評。玉舘さんは「今後は木の上の小屋作りや水車を使った発電にも挑戦したい」と意欲を見せていました。

詐欺被害未然に防ぐ 軽米郵便局に感謝状

詐欺被害を防いだ、軽米郵便局の木戸口局長（左）と窓口で対応した三本木さん

軽米郵便局（木戸口春彦局長）は6月17日、詐欺被害を未然に防いだとして、二戸警察署から感謝状の贈呈を受けました。

この詐欺事件は「必ず儲かる」「絶対に損しない」といった、うまい話を持ちかけ、巧みに金銭を騙し取る「利殖勧誘詐欺」という手口。6月7日に町内の80代男性に架空の儲け話が電話で届いたとのこと。騙された男性は、現金10万円を実在しない東京の会社に普通郵便で送ろうと軽米郵便局に訪れました。

窓口で対応した三本木こまこさんは、現金を会社宛に郵送する事に疑問に思い、男性に事情を確認。詐欺の危険があるため、局長とともに軽米駐在所に通報しました。

三本木さんは「お客様が正直に事情を話してくれたので防ぐことが出来た」と話し、また木戸口局長は「お客様とのコミュニケーションが被害防止につながった。今後も気をつけたい」と気を引き締めていました。

詐欺の犯人は、日に日に新たな方法を見つけ、あなたのお金を騙し取ろうとしています。自分は大丈夫とは思わず、いい話はすぐに信用せず、ゆっくり冷静な対応を心がけ、不安なときは家族や警察にすぐ相談。詐欺被害に遭わないように気をつけましょう。

元交通指導隊 笹山直さんに感謝状

笹山　さん
（新井田、59歳）

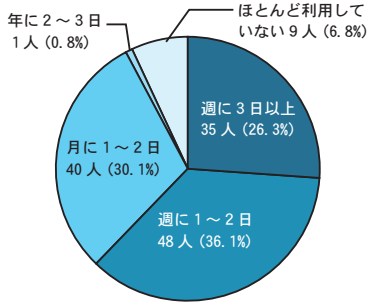
町交通指導員の笹山直さんが本年3月末に退任され、県知事感謝状が贈られました。

笹山さんは、昭和55年11月に就任以来、本年3月に退任するまでの32年間、街頭指導活動やイベント等における交通指導を積極的に行い、町の交通安全活動にご尽力いただいております。

公共交通アンケート結果を公表します

快適な公共交通を目指して

町では、利用者が減少し続ける公共交通を「持続可能な公共交通」にするため、町民バスとコミュニティバスの見直しを進めています。町民の皆さまにとってより身近で使いやすい公共交通を目指すため、バス利用者を対象にアンケートを実施しました。調査結果の概要をお知らせします。



【町民バス・コミュニティバスの利用頻度】

【問】町民バス・コミュニティバスをどれくらい利用していますか？

〈結果概要〉

「週に３日以上」と答えた方が26・３％、「週に１～２日」と答えた方が36・１％と、週に１日以上利用する割合が６割を超えるという結果となった。

バス利用者にとっては、日常的な交通手段として利用されていることが分かった。

ほとんど利用しないと答えた方の理由

○自家用車を利用する
○バス停までの距離が長い
○中心街での移動に不便
○乗り継ぎ時刻が合わない

【問】自家用車での移動が可能ですか？

①車を保有し、運転できる　７・７％
②自家用車を保有していない・運転できない　92・３％

〈結果概要〉

保有していない・運転できないと答えた方が９割を超えるという結果となった。

バス利用者の多くが、自力での移動手段を持たない人であり、バスは移動手段の公平性を守る重要な役割を担っていることが分かった。

【問】バスを利用する理由はなんですか？（複数回答）

①安全だから　７・５％
②車が利用できない　34・７％
④料金が安い　11・６％
⑤友達と一緒に出かけられる　４・６％
⑥交通手段がない　32・９％
⑦その他　８・７％

〈結果概要〉

他の交通手段がないことや料金の安さを理由に挙げている方が多かった。また、安全面や交流を目的に利用する人もいた。

【問】バスを利用する時の楽しみは？（複数回答）

①同乗者との会話　24・３％
②運転者との会話　１・１％
④待合所での会話　19・９％
⑤買い物　12・７％
⑥人との出会い　33・１％
⑦特になし　８・３％
⑦その他　０・１％

〈結果概要〉

人との会話や出会いなど、バス利用を通した交流が図られていることが分かった。

【調査方法】
①バス乗車による聞き取り調査
②座談会　町内11会場
③アンケート調査

【調査期日】
５月14日（火）～31日（金）

【回収結果】

①乗車聞き取り	72人
②座談会	41人
③アンケート	31人
計	144人

【問】中心街での移動手段はなんですか？（複数回答）

①町民バス　11・３％
②コミュニティバス　７・７％
④民間バス　９・９％
⑤タクシー　20・４％
⑥徒歩　45・１％
⑦その他　６・３％

〈結果概要〉

徒歩で移動する割合が４割を超え、次にタクシー、町民バスとなった。聞き取り調査では、「タクシーは高いので徒歩で移動する」「バスは時刻が合わず、利用しにくい」という意見があった。

平成２６年４月からの主な見直し案

①ダイヤ・路線の見直し

（町民バス）
・現在、週１～２回の町民バス運行を全て週２回にする
・中心街の滞在時間を拡大するため、ダイヤを調整する

（コミュニティバス）
・民田山線は１日３往復にする

②町民バスの一部区間デマンド運行

・利用者の少ない区域で試験的に電話予約運行を導入

③新たにまちなか線・インター線の運行

・昼時間（10時、11時、12時）に町中心街を運行するまちなか線（仮称）を運行する
・高速バスに接続するインター線を運行する

④コミュニティバスの小型化

・29人乗りから15人乗りに変更し、効率化と経費削減

※見直し案は、現段階のものです。アンケート結果や皆さまからのご意見を取り入れながら、より良い公共交通を目指します。

自由意見（抜粋）

【運行時刻について】
○高校通学に使える便が必要
○７時30分頃に病院着の便があればいい

【運行回数について】
○バスの減便・廃止はしないでほしい
○土日祝日や市日の日に運行してほしい

【運行経路について】
○まちなか線の案はいい考え、利用したい

【バス停について】
○バス停以外でも乗り降りできると助かる
○新しくバス停を設置してほしい

【運賃について】
○運賃を高くしてでも、運行を続けてほしい

【車両について】
○経費削減のため、車両を小型化してもかまわない

【その他】
○高速バスの利用に不便
○１日１往復でも運行すると地域が活性化してよい
○物産交流館で他の乗客と交流するのが楽しい。手押し車の貸し出しも助かる

東京への道のりをより気軽に

夜行高速バス「シリウス号」が軽米に

７月１日より国際興業と十和田観光電鉄が共同運行する七戸・十和田・八戸～東京間・高速バス「シリウス号」のダイヤが改正され、軽米インターバス停留所にも停車することとなりました。首都圏への新たな交通手段として、ぜひご活用ください。

【時刻表】

上り線	下り線
七戸十和田駅 ２０：１０	東京駅八重洲南口 ２１：３０
軽米インター発 ２２：４０	池袋東口９番 ２２：００
池袋駅東口降車場 ６：５０	**軽米インター着 ６：１０**
東京駅日本橋口 ７：１５	七戸十和田駅 ８：４０

【電話予約・問い合わせ先】
十和田観光電鉄・八戸予約センター
（☎０１７８－４３－４５２１）
【オンライン予約】
「発車オーライネット」で予約
（https://secure.j-bus.co.jp/hon）

後期高齢者医療制度

7月中旬に保険料額の通知書 下旬に保険証を郵送します

【問】役場町民生活課（☎46-4734）

▼8月から新しい保険証

後期高齢者医療制度（75歳以上の人と一定の障がいのある65歳以上の人）の保険証が8月に更新となります。新しい保険証は、7月下旬に被保険者に郵送します。住所、氏名などを確認のうえ、8月1日からは新しい保険証をお使いください。また、今まで使用していた保険証は細かく切って破棄してください。

▼通知書が届きます

特別徴収（年金からの天引き）によって保険料を納めている人には7月中旬に「後期高齢者医療保険料額決定通知書」が郵送されます。

また、普通徴収（年度途中の転入や新たに制度に加入した人など年金から天引きできない人）には「後期高齢者医療保険料額納入通知書（納付書）」が郵送されます。届いた納入通知書で納期限までに納付しましょう。

特別徴収の方に届く決定通知書→

普通徴収の方に届く納入通知書↓

▼限度額適用認定証も更新

町民税非課税世帯が現在使っている「限度額適用・標準負担額認定証」の有効期限は7月31日です。

すでに認定証をお持ちの人のうち、引き続き町民税非課税世帯と確認できた人には、7月末までに新しい認定証を郵送します。新たに制度に加入したり、申請が必要な人には、7月上旬に手続きのお知らせを郵送しますので、案内に従って申請して下さい。

※納期限までに納付しないと

通常よりも有効期間が短い被保険者証が交付される場合があります。

※さらに滞納が1年以上続くと

被保険者証の代わりに資格証明書が交付となり、医療を受ける場合にいったん全額自己負担しなければならなくなります。

大南チヤさん 100歳おめでとう

大南チヤさん（河北）が6月25日に100歳の誕生日を迎えました。同日、チヤさんが入所する特別養護老人ホームいちい荘で誕生会が行われ、親族や山本町長、利用者などに囲まれながら、祝福を受けました。

山本町長は、長寿祝金と「寿」と自筆した色紙を手渡し、「100歳を築くということは大変なことだ。これからも記録を伸ばしてほしい」とお祝い。

誕生会では、つくしの会による歌や踊りのアトラクションが披露されました。

長男の嫁サダさんは「人と話すのが好きで今日のように多くの人が集まっていただいて喜んでいると思う」と話していました。

チヤさんは、大正2年生まれ。子ども2人に恵まれ、孫2人、ひ孫1人がいます。

【写真上】
100歳を迎えられた大南チヤさん（右から2人目）

【写真左】
つくしの会によるアトラクション

募集

平成25年度町職員採用試験

一般事務、保育士・幼稚園教諭、保健師を募集

【採用職種と予定人員】

①一般事務……　若干名
②保育士・幼稚園教諭……　若干名
③保健師……　若干名

【受験資格】

①一般事務…昭和54年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方

②保育士・幼稚園教諭…昭和59年4月2日以降に生まれた方で、保育士の資格および幼稚園教諭二種免許の両方を有する方、または平成26年3月31日までに取得見込みの方

③保健師…昭和59年4月2日以降に生まれた方で、保健師の資格を有する方、または平成26年3月31日までに取得見込みの方

【受付期間】

平成25年7月16日(火)から8月9日(金)の午前8時30分から午後5時30分まで（土曜、日曜、祝祭日を除く）
※郵送の場合も8月9日午後5時30分必着

【第1次試験の日時と会場】

・日時…平成25年9月22日(日)
　午前9時受付開始
・会場…一戸町立一戸中学校

【試験内容】

・1次…筆記試験（教養・専門・作文など）
・2次…面接試験

【合格から採用まで】

・最終合格者は、採用辞退者等の人数を考慮していますので、採用候補者名簿搭載者全員が採用されるとは限りません。
・資格取得見込みの方が資格を取得できなかった場合、もしくは採用されるまでの期間に公務員としてふさわしくない行動があった場合は、採用を取り消します。

◎申し込み・問い合わせ先
軽米町役場総務課総務グループ
〒028-6302　軽米町大字軽米10－85
電話４６－２１１１（内線250）

二戸地区広域行政事務組合

消防職員を募集

【採用予定人員】　若干名
【受験資格】
・平成2年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方で高校卒業以上（平成26年3月卒業見込含む）の学歴を有すること
・身長160（女性150）cm以上、体重50（女性45）kg以上、胸囲は身長の2分の1以上（いずれも概ねの数値）
・二戸管内に居住できること
・裸眼視力0.7以上または矯正視力1.0以上で健康であること

【受付期間】
平成25年7月22日から8月13日まで
【第1次試験の日時と会場】
・日時…平成25年9月22日(日)
・会場…一戸町立一戸中学校

◎申し込み・問い合わせ先
二戸地区広域行政事務組合
消防本部総務課
〒028-6101　二戸市福岡字長嶺28番地1
電話２３－７１１９

◆皆さんの地域の話題や情報をお待ちしています。
総務課広報担当（☎４６－２１１１・内線２０６）までご連絡ください

森を育て、こころを育てる

折爪岳植樹祭と第30回グリーンデー

二戸市、軽米町、九戸村の３市町村にまたがる折爪岳の山開きは６月２日に開かれました。さわやかな青空の下、山頂付近では植樹祭が行われ、小学生や家族連れ200人が参加。町内からは小軽米小学校の３学年と保護者、一般ボランティアなど約60人が参加し、ツツジやヤマザクラの苗木200本を丁寧に植えました。

６月23日には、第30回グリーンデーが町有林大平事業区内で開かれました。地域住民や小軽米小学校の３・４学年など約90人が参加。軽米小学校建設用に伐採した場所にコナラの苗木400本を植えました。山本町長は「森を育てる活動を継続するとともに、公共施設建設にも積極的に町産材を利用していきたい」とあいさつ。参加した小軽米小学校の田澤健太（けんた）くん（3年）は「今日植えた木が大きく育ってくれるとうれしい」と成長を願い、清藤真由（まゆ）さん（３年）は「何年後かに大きくなった木を見に行きたい」と期待していました。

大きく育つように願いながら丁寧に苗木を植える子どもたち
（写真右）折爪岳植樹祭
（写真下）第 30 回グリーンデー

秋の収穫が楽しみ

サツマイモの苗植え体験

山内保育園（石川敦子（あつこ）園長、園児７人）の園児は６月４日、県北農業研究所の圃場を訪れ、サツマイモの苗植え体験を行いました。この農業体験は「子どもたちに自然に触れる機会を作り、農業の楽しさを知ってほしい」と県北農業研究所が企画。園児たちは大きく育つように祈りながら、苗を一株ずつ丁寧に植えていました。10月には園児たちの手で収穫が行われる予定です。

一生懸命に苗を植える園児たち

初めて入る議場の中に児童たちは興味津々

町の仕事ってなんだろう

晴山小学校が町内めぐり

晴山小学校では６月 21 日に社会科見学の一環として、「町内めぐり」を開催しました。３学年児童 12 人が役場や図書館などを巡り、施設の役割やそこで働く人の苦労や願いについて学習。役場では各課や議場などを見学したほか、町長にも面会。「町長の仕事で大変なことはなんですか？」や「町長の好きな仕事はなんですか？」と質問していました。児童たちは一生懸命メモを取りながら、町長の話を聞いていました。

ボール運びリレーはチームワークが勝利の鍵

丹精こめて育てた２６作品

さつき・盆栽展

第34回町民文化祭展示部門の「第17回さつき・盆栽展」が、６月15日と16日に軽米中央公民館で開催されました。展示期間中には約90人が来場。町文化協会緑樹会（工藤功代表）のメンバーが手塩にかけたさつきや盆栽26点が展示され、訪れた人の目を楽しませました。

６月30日には同会主催の盆栽教室も開催。一般の町民など約20人が参加し、佐川豊志（とよし）さん(八戸市)から日常の管理や剪定方法について学びました。

来場者は手塩にかけて育てられた作品に目を奪われていました

人生楽しくはつらつに

老人クラブ運動会

町老人クラブ連合会主催の第 39 回老人クラブスポーツ大会が６月 21 日、ハートフルスポーツランドで行われました。町内から５チーム約 150 人のお年寄りが出場。徒競走やボール運びリレーなどの競技が行われ、参加者は若者にも負けないはつらつとした動きを見せていました。観客席からは大きな声援が送られるなど、チーム一丸となって優勝を目指しました。競技の結果は円子連合が優勝。２位に笹渡連合、３位に観音林連合が続きました。

人を思う気持ちが大切

小軽米小で人権教室

小軽米小学校（山本顕校長、生徒56人）で６月26日に人権教室が開かれました。生徒たちはいじめをテーマにしたビデオを鑑賞し、町人権擁護委員の解説を聞きながら、命の大切さや人への思いやる気持ちについて学びました。小林実慶（みちか）さん（６年）は「人の気持ちを考えることが大切なことが分かった。思いやりを持って友達と楽しく過ごしたい」と話していました。同教室後には、植栽を通して人権を学ぶ、人権の花運動も実施されました。

人権擁護委員の解説を聞きながら、人権について学ぶ児童

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

十勝川温泉フットパスウォーキングが行われ、親子連れなど42人が参加しました。この日は気温も上がり散策には絶好のコンディション。参加者は、公園内や十勝川温泉街をのんびり散策し、森の樹木や鳥などガイドの説明を聞きながら自然とふれあいました。

のんびり散策し自然とのふれあいを楽しむ参加者たち

笑顔あつまれ！　みんなの広場

キラキラ光る

古里　由希（ゆうき）さん
（18歳、観音林東）
身長157㌢、B型
株式会社阿部繁孝商店
九戸工場

おいしい食事を支えるやりがいのある仕事

今年の3月に軽米高校を卒業したばかりの古里さん。株式会社阿部繁孝商店に就職し、九戸工場で働いています。

Q、今の職業を選んだ理由は？

家から通える職場を条件に就職活動をしていました。製造業に興味があったので、職場見学に行ってみたのがきっかけです。作業を見学してこういう人のおかげでおいしい食事が出来ることが分かり、私もやってみたいと思うようになりました。

Q、趣味や休日にやることは？

小学校3年生から始めた卓球は、今でも続けています。また、家族の影響でモータースポーツを見るのも好きです。

Q、あなたの夢は？

早く仕事を覚えて、一人前になりたい。

Q、町をどう思いますか？

自然が多くて暮らしやすい町。地域の人たちも性格の良い人ばかりで大好きです。

▼好きなスポーツ…卓球
▼好きな色…青
▼好きな花…ひまわり
▼好きな食べ物…桃
▼好きな映画…ワンピース
▼理想の異性のタイプ…。背が高くて、筋肉質。スポーツが出来る人。芸能人で言うと嵐の桜井翔くん。

今月の俳句（北光吟社5月例句会）

田植待つ水面に逆さ岩手山　丹下　美恵子

春の寺往時を偲ぶ仏達　中野　とき子

師を交え一期一会の初夏の句座　川崎　郁子

啄木の日戸の村の遅田植　松村　英子

西日背に草刈り終へて帰る道　早川　慶子

鯉のぼり揺らして風の過ぎゆけり　川島　由蔵

日本晴素足の田植心地よく　千葉　紅園

幼子の蕗の葉傘に遊びをり　中田　紀子

空よりも雲に落ち着く新樹かな　三上　千栄女

※町文化協会「北光吟社」の例句会より俳句を紹介しています

有終の美に向けて

僕達の晴山中学校は、今年度で閉校します。最後の1年を晴中の歴史に残るものにするため、生徒会スローガン「誇り～終わりなき晴中魂～」を掲げ様々な取り組みをしています。

5月に行われた体育祭は晴中祭とともに晴中の二大行事ですが、最後にふさわしい盛大なものになりました。3年生は、春休みから準備を始め、がんばってきました。1、2年生も学年のリーダーを中心にしっかりとまとまり、白・赤両組団ともチームワークのよい組団をつくることができました。勝敗はつきましたが、この体育祭で得た団結力は、大きかったと思います。閉校の年ということで、いつもの行事や今までにない取り組みへの期待も大きいと思います。次はまず1学期をしっかりと締めくくり、2学期の学校公開と晴中祭の成功に向けて全校一丸となって取り組んでいきたいです。

晴山中学校最後の行事、閉校式を大成功させ、70年以上の歴史と伝統にしっかりと幕をおろすため、日々の生活を通し、一つ一つ成長し、頑張っていきます。

■夢・希望・えんぴつ■

晴山中学校３年
山仁　隆司（りゅうじ）さん
（高清水）

軽米の埋もれし宝 55

～縄文の遺跡⑫ 板子屋敷３遺跡～

板子屋敷（いたこやしき）3遺跡は、町中心部から坊里沢を北東へ約4㌔ほど辿った、町道長倉イタコ屋敷線北側の山中にあります。

遺跡は標高280m～320mの南向きのやや急な傾斜地に位置し、中央部が谷状に低くなり緩斜面となり、南側にやや平坦な面が広がります。谷部では、北から南へ流れた河道（沢）跡も見つかっています。

向川原から長倉へ延びる広域農道の建設に際して約1万5千㎡を発掘調査したところ、縄文時代早期、後期～晩期の土器や弥生土器がコンテナ30箱分、土製品91点、石器千点などが出土しました。

また、縄文時代の竪穴住居跡22棟が谷部南の平坦面のほか北側の急傾斜地にも点在し、土坑63基、土器埋設遺構7基などが発見されました。後期中葉～晩期初頭頃（約3千5百年～3千年前）に営まれた、一時期に2～3軒ほどの小さな集落跡と考えられます。

それにしても、何故このような山間（やまあい）に集落を造ったのでしょう。

その答えはよくは分かりませんが、この遺跡からは、土偶9点・スタンプ形土製品2点・球状土製品3点・円盤状土製品67点などの土製品や、単孔土器・人面付土器（連載第22回平成22年11月号参照）などの特殊な土器も出土しています。先月・先々月号で紹介した長倉I遺跡と比べると、規模は小さいものの、時期や出土遺物の内容が非常に似通っています。

長倉I遺跡は直線距離にして約2㌔北、新たな広域農道の約4㌔先の近場にあります。縄文時代にも板子屋敷と長倉を直接結ぶ「縄文の道」があって、密接に結びついていたことが伺えます。

（教育委員会学芸員　藤田直行）

板子屋敷３遺跡の調査風景（谷部）

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所（☎４６－２００４）

～水と山の事故を無くし、楽しい夏を～

１　水難事故防止

昨年、県内で発生した水の事故は13件で、10名の方が亡くなっています。これから暖かくなると、町内では雪谷川などの水辺で子どもたちが遊ぶ機会が多くなります。皆さんで次のことに注意して子どもを水の事故から守りましょう。

①子どもだけでは、川などの水辺で遊ばせない。
②子どもを自分の視界から離さない！
③通学路や自宅の周辺等の安全確認！
④用水路は危険！
⑤危険な場所で遊んでいる子どもには、「危険な理由」を教えて安全な場所で遊ばせましょう

２　山岳遭難事故防止

昨年、県内では36件の山岳遭難が発生し、うち夏期（７月から９月）における山岳遭難は11件発生しています。山岳遭難に遭わないために、次のことに注意しましょう。

①家族に行き先、帰宅時間を知らせて出かける
②万一に備えて、携帯電話、食糧、雨衣、懐中電灯などを持参しましょう。
③自分の体力、健康状態に応じた行動をとり、無理をしないようにしましょう。
④笛・鈴など、熊よけの工夫をしましょう
⑤万が一遭難したら、夜間の行動はやめ、翌朝まで待ちましょう

５月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	０件	０件	－４
死亡者	０人	０人	±０
負傷者	０人	０人	－４
物損事故	12件	68件	－２
救急車出動回数	28回	166回	－18

※（累計）は１月からの合計です。見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶今月の飲酒運転検挙者はありません

目指そう！はつらつ人生

地域包括支援センター（☎４６－４１１１）

自立した生活を目指す池端さんご夫婦をご紹介

～　頑張り屋さんの徳蔵さんと明るく元気な清子さん　～

池端徳蔵（とくぞう）さん（72歳、高清水）は本年１月に脳梗塞で倒れ、右半身マヒの後遺症が残ってしまいました。２月からリハビリのため入院。６月初めに退院し、今でも自宅で精力的にリハビリを続けています。日課は30分の散歩とストレッチ。雨の日には家の中で歩くという頑張り屋さん。奥さんの清子（せいこ）さんの介護を受けながら、着替えや入浴など自分で出来ることは自分でするようにしています。自宅生活では、住宅改修で玄関に手すりを設置したほか、ベッドのレンタルや週１回のデイサービスなど介護サービスを利用しています。清子さんは「夫婦２人で仲良く生活していきたい」と笑いながら話し、徳蔵さんは「出来ることをマイペースにやっていきたい」と自立した生活に意欲を見せていました。

徳蔵さん（前列左）を介護する清子さん（同右）と、池端さんご家族を支える皆さん

▶池端さん夫婦を支える皆さんからのメッセージ◀

矢澤司さん（㈱ケア・テック二戸営業所）＝写真後列左
仲の良い２人の手助けが出来るように支援します。

小原明美さん（くつろぎの家　デイサービス）＝写真同中央
週１回のデイサービスを楽しく過ごせる雰囲気作りをしていきます。

熊谷久子さん（くつろぎの家　ケアマネジャー）＝写真同右
仲の良いご夫婦が自立した生活が出来るように支援していきます。

丈夫に育つ　元気に働く　健やかに老いる

健康福祉課（☎４６－４１１１）

夏バテ予防の食事

健康福祉課
上席主任保健師
工藤　晃子

夏バテは、夏の暑さに体の調節機能が対応しきれなくなった結果、からだにいろいろな不快な症状があらわれることです。

食生活の面では、胃腸の働きが鈍り食欲が低下しがちです。夏場はビタミンＢ1が多く必要となりますが、食欲不振などにより不足すると疲れがとれにくくなります。

食欲のないときもそうめんだけではなく、豆腐や卵料理、魚料理など、さっぱりしていても良質のたんぱく質とビタミンの豊富なおかずを食べましょう。カボチャ、トマト、ピーマン、にらなどの緑黄色野菜はビタミンや、汗とともに失われたミネラルの補給に最適。普段から食べるよう心がけましょう。

水分摂取も必要です。ただし冷たくて甘い飲み物をたくさん飲むと、胃の働きを弱め食欲がなくなります。みそ汁や牛乳、お茶などでも水分とミネラルの補給ができます。胃腸を冷やす冷たいものばかりでなく温かいお茶にするのもよいでしょう。

図書館だより

町立図書館（☎４６－４３３３）

今月の図書館ひろば

日時：７月27日　10:00～11:00　対象：幼児
場所：図書館となりの蔵　　小学校低学年

ー今月の新刊ー

【児童書】

すいか！

（小峰書店）

文/石津ちひろ　絵/村上康成

暑い夏にはやっぱりすいか！今日は最高のすいかびより。うららちゃんとだいちくんは、おじいちゃんのすいか畑にやってきました。みんなで、もぎたてのおいしいすいかを食べていると…。

おばけやさん③
ふわふわするのもしごとです

（偕成社）

作/おかべりか

ちょっとしたお手伝いから、人間にはできないような大きなしごとまで何でも引き受ける「おばけや」。今回のしごとは、絵のモデルです。初めてのモデル役はうまくいくかな？

【一般書】

とっておきの プール遊び　水遊び　どろんこ遊び

（鈴木出版）

著/志賀圭子

水や砂、どろんこにはおもちゃとは違う感触・魅力がいっぱい！０歳からできる簡単な遊びからごっこ遊び、仲間を意識した遊びまで、子どもたちの発達や状況に合わせながら紹介。

グランドマンション

（光文社）

著/折原一

騒音問題、住居侵入、ストーカー…。アクの強い住人たちが次々と問題を引き起こす“グランドマンション一番館”を舞台に、著者ならではの奇想と騙りが炸裂するミステリー連作集。

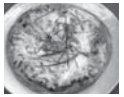
（広告スペース）

あずまえびす　好評発売中！

雑穀 100％（ひえ麹使用）本格焼酎
◆720ml.アルコール25度
（問）㈱軽米町産業開発（TEL４６－４２２２）

あんかけがブームです！
野菜たっぷりあんかけラーメン!!
ハッピーバースデイプレゼント実施中！！（3人以上の食事会に限ります）

ダッタンそば粉入り
「そばかっけピザ」



雑穀弁当・仕出し・宴会
食事処 内まる屋（TEL４６－２３１８）
兄さんの18番

※広報かるまいでは、町内の業者などからの広告を掲載しています

町のこよみ・かるまいカレンダー

7月　July

16	火	参議院議員通常選挙期日前投票【環】8:30～20:00（～20日）
17	水	２歳児健診【ふ】13:00～13:30受付
18	木	
19	金	
20	土	かるコン【町中心街】18:30～21:30
21	日	参議院議員通常選挙投票日【各投票所】少年野球教室【ハ】10:00～
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	うまっこ教室【ふ】9:30～12:00
26	金	
27	土	図書館ひろば【図】10:00～
28	日	子ども司書講座【図】9:00～ 休日と夜間の納税相談【税務会計課】（～30日）
29	月	子ども会リーダー音更町視察研修訪問（～８月１日）
30	火	
31	水	町税の納期限（固定資産税２期、国民健康保険税１期）

8月　August

1	木	
2	金	軽米夏まつり【町中心街】（～４日）
3	土	
4	日	子ども司書講座【図】10:00～
5	月	
6	火	子ども会リーダー音更町受入（～８日）
7	水	乳児健診【ふ】13:00～13:30受付
8	木	特定計量器定期検査【小軽米出張所】9:30～10:15【ミル・みるハウス】11:00～11:30【環】13:00～15:30
9	金	子ども司書講座【図】10:00～
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	成人式【環】受付9:00～、式典10:00～

（カレンダー中の【　】は開催場所で下記のとおり表示します）
体:町民体育館　環:農村環境改善センター　公:中央公民館
図:町立図書館　病:県立軽米病院　ふ:健康ふれあいセンター
老:老人福祉センター　フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク　歴:歴史民俗資料館　ハ:ハートフル・スポーツランド　運:町営運動場　ゲ:ゲートボール場

スナップ写真館

今年で最後になる笹渡中伝統の蕗取り

稚アユの放流を体験する軽米幼稚園の園児

町学童野球大会では軽米は惜しくも準優勝、来年はリベンジ！

久慈軽米人会の皆さんはハートフルのシバザクラの見学に訪れました

お知らせ 情報 Information

参議院議員通常選挙 忘れずに投票しましょう

任期満了に伴う参議院議員通常選挙の投票日は7月21日（日）です。当日に投票できない方は期日前投票をご利用ください。

皆さんの声を国政に反映させるよい機会ですので、「よく見、よく聞き、よく考えて」投票しましょう。

【投票日】７月21日（日）
７：００～１８：００
【期日前投票】７月５日（金）～７月20日（土）
８：３０～２０：００
町農村環境改善センター
【問い合わせ先】軽米町選挙管理委員会事務局（☎４６－２１１１）

土地家屋についての 全国一斉無料相談会

岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部では、７月31日「土地家屋調査士の日」を記念して、無料相談会を行います。

▶日時：７月31日（水）
午前10時～午後３時

▶場所：岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部会員の各事務所
▶相談内容：
土地の分筆・合筆・地目変更・地積更正登記、建物の新築・増築・滅失登記、土地・建物の調査測量、境界問題
【問い合わせ先】県土地家屋調査士会二戸久慈支部支部長大村（☎４６－２０２７）

内科(9:00～17:00)　休日当番医　歯科(9:00～12:00)

浄法寺診療所（☎38-2021）	二戸市浄法寺	７月21日（日）	こしみず歯科クリニック（☎33-4618）	一戸町一戸
松井内科医院（☎33-2201）	一戸町一戸	28日（日）	森川歯科医院（☎23-6361）	二戸市堀野
菅整形外科皮膚科クリニック（☎23-7311）	二戸市石切所	８月４日（日）	菅原歯科クリニック（☎23-1180）	二戸市福岡
川村医院（☎23-3252）	二戸市福岡	11日（日）	宮沢歯科医院（☎46-2953）	軽米町元屋町

二戸消費生活センター 消費生活相談のご案内

平成25年８月の相談日は次のとおりです。電話でご予約のうえお越しください。
◎法律相談
８月６日（火）、27日（火）
◎お金と暮らし相談
８月９日（金）
◎多重債務相談
８月20日（火）
※場所：二戸消費生活センター（二戸地区合同庁舎内）
【申し込み・問い合わせ先】二戸消費生活センター（☎２３－５８００）

ご相談ください 出張消費生活相談

消費生活のトラブルに生活相談員が出張相談を受け付けます。
■日時：８月８日（木）
10：00～12：00
■場所：軽米町役場内
（窓口：町民生活課）
【問い合わせ先】二戸消費生活センター（☎２３－５８００）または町民生活課・町民生活グループ（☎４６－４７３４）

広報かるまい６月号の２ページに誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。
○補正措置額　3億９８００万円増
×補正措置額15億６０００万円増

地域づくりに チャレンジする団体募集

町では、協働参画による地域づくりを推進していくため、「協働参画地域づくりチャレンジ事業」を実施しております。

豊かで住みよい活力ある地域づくりのため、行政区、町内会、自治会及び団体等が自主的かつ主体的に取り組む事業に対して支援金を交付する制度です。

【対象事業】行政区、町内会、自治会、企業およびＮＰＯなど町内各種団体が町内で行う社会性の高い自主的・主体的かつ公益的な事業
【対象経費】事業に要する経費から他の補助金・助成金の財源を控除した額
【交付額】対象経費の２分の１以内(１事業あたり50万円上限)
【申込締切り】７月19日(金)
【問い合わせ先】役場総務課（☎４６－２１１１）

東日本大震災被災者 支援活動を応援します

町では、町民等が自主的に行う東日本大震災の被災者の復興支援活動に要する経費に対して予算の範囲内で補助金を交付します。

【対象者】被災者・被災地の復興支援を行う次に掲げる団体等
①町内に住所を有する者が半数以上で構成する団体等（町内で主たる活動を行う者に限る。）
②町内に事業所を有する法人または事業主
【補助額】１補助対象者につき年1回50万円を限度とし、千円満の端数は切り捨てた額
【対象事業】
①被災地の復旧・復興支援事業
②被災者の心身のケア事業
③被災者との交流事業
④その他の事業で町長が特に必要と認める事業
【問い合わせ先】役場総務課（☎４６－２１１１）

サマージャンボ宝くじ

１等・前後賞合わせて５億円!!
発売期間は７月 10 日～８月２日
2000 万サマーと同時発売

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよい街づくりに使われます。

（広告スペース）

もしもの時に備えてますか？
3,000×80回で大きな安心　玉姫グループ互助会　会員募集中

宿泊室完備…24時間いつでも病院から直接入室できます。
お年寄りの方や、お体の不自由な方にも対応したバリアフリー施設です。

玉姫グループ
葬儀・法要専門会館
24時間受付　電話46-4109

軽米セレモニーホール
岩手県九戸郡軽米町大字上舘１５－１３０－１

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

好評発売中
軽米町産さるなし100%使用
さるなしの雫
（甘口、リキュール）
500ml ￥1,260（税込み）
販売元・お問い合わせ
リカー＆フーズこばやし(TEL46-2059)

広告募集中

広報かるまいでは、町内業者などからの広告を募集しています。
広告掲載料：４，０００円/月
（６カ月以上掲載の場合は3,000円/月）
詳しくは、下記までお問い合わせください。
（問）役場総務課企画グループ（☎４６－２１１１）

（広告スペース）

広報 かるまい7
平成25年 7月号 (No.652)

冠婚葬祭　5月分
＜敬称略＞

おめでた
（　）内は父母の名

河北　小林　優凛（ゆり）（誠・佳奈）
門前　鶴飼　護優（ごう）（大亮・柚香）
門前　蒲生　すみれ（聡・佑子）

おしあわせに

中野　隆浩（下河南）
菅野　梢（八戸市）

藤原　隆嗣（二戸市）
田村　華香（向川原）

おくやみ
（　）内は享年

蛇口　駒目　勲（69歳）
上谷地渡　上村　清作（84歳）
横枕　横島　タイ子（77歳）
東台　山野内　正男（77歳）
下河南　中野　徳松（103歳）
平　川原　満（74歳）
下円子上組　泉山　末造（90歳）
下新町　江刺家　ヤエ（90歳）
観音林北　本田　富治（79歳）
仲町　中川　多鶴江（87歳）
上舘　菅原　初夫（57歳）
大清水　橋場　久蔵（84歳）
向高家　内澤　初郎（83歳）
上円子　大崎　保（45歳）
下河南　上家　昭七郎（81歳）

※お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

●人の動き
＜平成25年5月31日現在／町民生活課調べ＞

男　4,989人（－7）／女　5,264人（±0）
合計　10,253人（－7）／世帯数　3,779（－1）
※（　）は前月比

転入　18人（83人）／転出　11人（193人）
出生　3人（8人）／死亡　17人（66人）
※（　）は1月からの累計

わ・かるまい㉘

―創作太鼓の会 座・宇漢米―

創作太鼓の会座・宇漢米（堀米成嘉代表、町文化協会所属）は、昭和62年に結成。「日本の伝統芸能である太鼓を使って、自分たちの太鼓を作っていきたい」との思いが活動の始まり。結成から20年以上が経ったいまでは、町内のイベントで姿を見せないことがないほど、町の顔として定着しています。今後は、軽米夏まつりや生涯学習フェスティバルにも出演する予定です。

■町教育委員会（☎46－4744）

我が家の人気者 すこやかさん

おじいちゃん、おばあちゃんが大好きな将英くん。最近は消防車にハマっています。

（両親から一言）
これからも元気でいてね。パパみたいに太らないでね（笑）

工藤　将英（しょうえい）くん（2歳11カ月）

愛称：しょうくん
（河北）昌也さん・希真恵さんの長男

ほっとひとき／編集後記

○今回は、植樹やサツマイモの苗植え、稚アユの放流など、子どもたちが植物や生物に触れる体験を多く取材しました。自然はこころを育てる学び舎です。体験を通して、優しい気持ちを育てていってほしいですね。
○7月21日は参議院議員選挙の投票日です。国民の声を政治に反映させるための大事な選挙です。忘れずに投票しましょう。また、当日投票できない方は、期日前投票をご利用ください。（関向）

発行／岩手県軽米町　編集／総務課
〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
電話 0195-46-2111(代)
FAX 0195-46-2335
ホームページ http://www.town.karumai.iwate.jp/